

実施状況…A.実施した B.検討したが実施に至らなかった C.検討も実施もしなかった D.廃止した
計画の達成状況…a.計画通りに達成できた b.ほぼ計画通りに達成できた c.計画には及ばなかった

令和元年度		自 己 点 檢 幼保連携型認定こども園 長坂保育園
評 価 項 目		
I 福祉サービスの基本方針と組織		
1	<input type="radio"/> 理念が明文化されている	
コメント	マニュアルで明文化されており、ミーティングや園内研修で確認している。	
2	<input type="radio"/> 理念や基本方針が職員に周知されている	
コメント	ミーティングや園内研修などで周知する取り組みを行っている。	
3	<input type="radio"/> 理念や基本方針が利用者等に周知されている	
コメント	入園の際や入園進級式の時に説明をしている。しおりやホームページに記載している。	
4	<input type="radio"/> 施設長自らの役割と責任を職員に対して表明している	
コメント	朝礼や会議等で職員に伝えている。	
5	<input type="radio"/> 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている	
コメント	研修などに参加して理解を深め、会議や回覧等で伝達している。	
II 組織の運営管理		
6	<input type="radio"/> 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている	
コメント	必要に応じて、話し合いが行われ、園長や職員間で相談しながら、勤務の形態を変更する等している。	
7	<input type="radio"/> 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている	
コメント	新人、中堅等それぞれに合った研修に参加できるよう明示されている。	
8	<input type="radio"/> 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている	
コメント	希望を聞いたり、バランスを配慮したりしながら、様々な研修に参加している。今年度は研修の機会が少なかったが、計画に基づいて研修をしている。	
9	<input type="radio"/> 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている	
コメント	研修参加者は復命書を提出し、回覧をして全職員が見られるようにしている。また園内研修等で報告し、共有している。	
10	<input type="radio"/> 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している	
コメント	マニュアルに明記され、担当者も決められている。実習生の希望を聞きながら計画を立て、職員に周知している。	
11	<input type="radio"/> 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている	
コメント	実習ノートに所見を書き、毎日の反省会や責任実習、全体での反省会を行い、アドバイスをしている。 (今年度八戸短期大3名、高校生3名)	
12	<input type="radio"/> 民生・児童委員や自治会等の地域団体と連携した取組を行っている	
コメント	ふれあい広場に民生委員の方や地域の方(鹿友会)を呼んで一緒に遊んでもらい、子育てのアドバイスをしてもらっている。 また、在園児も2か月に1回程度地域の方と交流を行い、昔の遊びやクッキングなどを行った。 あいさつ運動や公園のごみ拾いをしている。地域の消防訓練等にも参加予定だったが、天候不良のため中止となる。	
13	<input type="radio"/> 近隣の人々に保育について理解を得たり、協力を依頼する等の配慮をしている	
コメント	年2回の総合避難訓練では、近田会計事務所職員の避難誘導の協力を得ている。園の行事について、ホームページにも掲載する等している。	
14	<input type="radio"/> 中高生などの保育体験を受入れるに当たり、受入れの意義や方針が全職員に理解され、受入れの担当者も決められている	
コメント	マニュアルがあり、計画を立て職員に周知し、担当者も決められている。(今年度根城中学校職場体験4名)	
15	<input type="radio"/> 育児相談など地域の子育て家庭を対象とする子育て支援のための取り組みを行っている	
コメント	一時預かりや子育て支援の「ふれあい広場」、園庭やルーム開放をしている。子育ての相談に応じる等、育児支援を行っている。	

	評価項目	NO.2
16	○ボランティア受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している コメント マニュアルに明記されて、担当者も決まっている。	
17	○認定こども園の役割を果たすために必要な地域の関係機関などの情報を収集し、職員が共有している コメント マニュアルに明記している。変更や情報があった場合は会議等で伝達し、共有している。 小学校からの手紙等も回覧し、情報を共有している。	
18	○園児の健康状況について、医療機関などに相談や連携ができる体制になっている コメント 嘱託医がおり、年2回の健診時に相談に応じてもらっている。	
19	○育児相談などに際して、児童相談所などの専門機関に相談や連携ができる体制になっている コメント マニュアルに記載され、相談できる体制になっている。	
20	○小学校との間で、小学生と園児とが行事等で交流する機会を設けており、職員間の話し合い、研修などの連携の機会がある。 コメント 運動会や発表会、合同学習会や給食試食会などに行って交流している。小学校の先生と話し合う機会がある。 幼保小連携の研修にも参加している。	
Ⅲ適切なサービスの実施		
21	○利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している コメント マニュアルがあり、会議でも確認をしている。(今年度は帳面の書き間違えがあった)	
22	○利用者満足の向上を意図した仕組みを整備している コメント 年に1度アンケートを取り、改善に向けての取り組みを行い、意見箱も設置している。クラス懇談会でも保護者の要望を聞いている。	
23	○利用者満足の向上にむけた取組みを行っている コメント 必要に応じて話し合い、改善できるところは取り組んでいる。父母の会役員会(年2回)で、アンケートについて伝えたり、行事の反省や次年度の計画について話し合ったり、保育についての意見や要望を聞く機会を設けている。	
24	○苦情解決の仕組みが十分に周知され、機能している コメント 担当者が決められており、入園のしおりに記載されている。説明の際にも伝え、玄関にも掲示している。	
25	○利用者からの意見等に対して迅速に対応している コメント マニュアルに明記。意見があった場合は園長・園長代理・副園長に報告し、その都度対応している。 迅速に対応し、職員間で共有している。	
26	○教育・保育の質の向上や改善のための取組みを職員参加により行っている コメント 毎月、職員会議・ワークミーティング・チームミーティング等を設け、取り組みを行っている。また必要に応じて話し合っているが、一人ひとりが意識をもって意見交換をすべき。	
27	○教育・保育の内容について、職員参加により、定期的に自己評価を行っている コメント ワークミーティングなどにおいて、月ごとの評価や行事での反省や見直しを行い、不都合な点を話し合い、必要に応じて改善している。また、年度末には1年間を振り返っての自己評価を行っている。	
28	○利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている コメント 見守るカルテや児童票に記録し、会議で共有している。共有できるように伝えているが、周知はなかなか難しい。 0・1・2歳児は毎月の個人目標、3歳以上児は年に3回の保育目標を立てている。一人ひとりについてもっと把握できるようにしていきたい。	
29	○利用者に関する記録の管理体制が確立している コメント 児童票は園長が管理しており鍵がかかっている所に保管している。月や週のカリキュラム等はワーカルームで保管している。 徹底されていないクラスもあるので、きちんと守るようにしていきたい。	
30	○利用者の状況に関する情報を職員間で共有している コメント 一人一人の家庭状況、子どもの発達状況、個人目標など、会議やミーティング等で話し合う機会を設け、共有している。	
31	○情報提供に当たって、わかりやすく伝える工夫や配慮を行っている コメント ホームページやかわら版で園の様子を伝えている。お知らせ等も帳面や玄関に掲示したり、日中の様子も写真で伝えたりしている。	

	評価項目	NO.3
32	○入所にあたり、利用者等にわかりやすく説明している	
コメント	園長や副園長が園全体の説明、担任が個別の問診やクラスの説明をしている。見学に来た際は園内を回りながら説明をしている。	
33	○一人一人の園児の発達状況に配慮した指導計画となっている	
コメント	0・1・2歳児は毎月の個別計画があり、3歳以上児は年3回個人目標を立てている。 定期的に見守るチェックをしている。配慮の必要な園児の個別支援計画を立てている。	
IV 子どもの発達援助		
34	○教育・保育計画が、園の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている	
コメント	アンケートやクラス懇談会の意見等を参考にし作成されている。地域の行事も取り入れている。	
35	○指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している	
コメント	月案・週案の自己評価をし、ワークミーティングでチェックを行い、次の月の指導計画に反省を生かしている。	
36	○登所時や在園中の園児の健康管理は、マニュアル等があり園児一人一人の発育・発達状況 健康状態に応じて実施している	
コメント	登園時に、一人一人の様子を「健康観察チェック表」に記入している。毎月身長体重を測定し定期的にチェックを行っている。	
37	○健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを教育・保育に反映させている	
コメント	結果を保護者に伝え、気になったことや嘱託医からのアドバイスなどは職員間で共有している。	
38	○歯科検診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを教育・保育に反映させている	
コメント	連絡帳やおたよりに結果を貼って保護者に伝えている。歯磨きについての話をホール集会で話している。	
39	○感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している	
コメント	マニュアルがある。看護師から発症状況・病気の内容・予防・配慮事項を会議などで伝えている。 保護者へも玄関のボードやホームページで伝えている。	
40	○食事を楽しむことができる工夫をしている	
コメント	セミバイキング方式の給食で、個人差や体調、食欲に応じて量を加減したり、配膳や後片付けも自分で行っている。 食材に興味を持てるような掲示物や栄養について話し、定着してきた。以上児は当番が試食も行っている。 0・1歳児は畠に関わることが少なかった。	
41	○園児の喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に生かしている	
コメント	以上児には調理員も一緒に給食を食べているが、未満児には入れないことが多かった。 会議で喫食状況などを伝えているが、量や大きさなど上手く伝わっていない事があった。	
42	○園児の食生活を充実させるために、家庭と連携している	
	献立表に家庭でのポイントを記載したり、給食試食会で意見交換などが行われている。	
43	○アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行っている	
コメント	アレルギー検査の結果を基に、除去食を提供している。アレルギー児は別のテーブルで食べ、トレーの色・食器の色、顔写真、アレルギー源、クリップを付ける等、給食と連携しながら進めている。	
44	○子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している	
コメント	園児の興味、発達に応じて環境の見直しをしたが、掃除が行き届いていない所があったので、担当や曜日を決めるなどしてよりこまめに掃除や消毒をしていく。貸し出し用の布団をこまめに洗濯する。	
45	○生活の場に相応しい環境とする取り組みを行っている	
コメント	季節に合った環境づくりに取り組んでいるが、落ち着いてくつろげる環境が必要。声の大きさに注意する。 0・1・2歳児はもっと自然物を環境に取り入れていきたい。	
46	○子ども一人一人の理解を深め、受容しようと努めている	
コメント	心掛けてはいるが、場合によって穏やかに話せない事があったので、意識をし、より気を付けていく。	
47	○基本的生活習慣や生理現象に関しては、一人一人の子どもの状況に応じて対応している	
コメント	園児のペースや個人の状況に応じて対応や援助を行っているが、個人によって急かしてしまうことがあるので気を付ける。	

	評価項目	NO.4
48	<input type="radio"/> 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている	
コメント	職員間で話し合ってコーナーを見直したり、充実させるように工夫しているが、前半環境の工夫が足りなかった。自発性をもっと發揮できるような働きかけや工夫をしていきたい。	
49	<input type="radio"/> 身近な自然や社会とかかわるような取り組みがなされている。	
コメント	天気の良い日などは散歩に出掛け自然に触れたり、博物館や地域の施設に行ったりしている。また地域の行事等にも参加している。生き物に触れる機会も増えてきた。(カブトムシ、ザリガニ、アカハライモリなど)	
50	<input type="radio"/> さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている	
コメント	自由に表現活動が出来る環境の工夫が必要。	
51	<input type="radio"/> 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している	
コメント	当番活動を行い、いつでも異年齢で交流ができるようにしている。0・1歳児と2歳児が交流できる機会は無理なく行った。	
52	<input type="radio"/> 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している	
コメント	その都度場面に合わせて配慮をしている。保護者にも伝えていくように工夫をする。	
53	<input type="radio"/> 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している	
コメント	性差、子どもの発想、態度、言葉、服装、遊び方、職業、育児、家事など固定的な観念を植え付けるような対応をしていない。	
54	<input type="radio"/> 乳児保育のための環境が整備され、教育・保育の内容や方法に配慮がみられる	
コメント	配慮に努めている。うつぶせ寝をさせないようにし、睡眠時はSIDSのチェックもつけ、定期的にミーティング等で確認も行っている。 (新人の知識不足があった)	
55	<input type="radio"/> 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	
コメント	配慮はしているが、引き継ぎが上手くされていない事があった。迎えが遅い園児への保育の内容や方法に配慮している。	
56	<input type="radio"/> 障がい児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	
コメント	気になる園児の個人の記録を取り、配慮しながら保育を進めている。個別の支援計画、嘱託医、桂堂学園と連携をとっている。全体の保護者へ障害へ関する情報を伝えたい。	
V 子育て支援		
57	<input type="radio"/> 一人一人の保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行っている	
コメント	送迎時に情報交換をしている。希望した方には個別面談(以上児)を行い、必要に応じて情報交換を行っている。毎年クラス懇談会を行っている。 未満児も来年度は希望者の個別面談を行っていきたい。	
58	<input type="radio"/> 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている。	
コメント	児童票・見守るソフト等に記載している。また、帳面や必要に応じて相談記録ノートに記録し、会議等で共有している。	
59	<input type="radio"/> 園児の発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共に理解を得るための機会を設けている	
コメント	クラス懇談会、給食試食会、自由保育参加日等があり、理解を得る機会にしている。	
60	<input type="radio"/> 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに園長まで届く体制になっている	
コメント	令和元年度、虐待と思われる児童無し。健康観察チェックや着替えの際に体のチェックを行い、何かあれば速やかに園長に情報が届く体制になっている。	
61	<input type="radio"/> 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について児童相談所などの関係機関照会 通告体制が整っている	
コメント	マニュアルがあり、体制が整っている。	
62	<input type="radio"/> 一時預かりは一人一人の子どもの心身の状態を考慮し通常保育との関連を配慮しながら行っている	
コメント	健康チェックを行い、保護者とのコミュニケーションを十分にとり、一人一人に合わせた保育を行っているが、危機管理が足りない部分があった。	

	評価項目	NO.5
63	○調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている。	
コメント	水質調査を行っている。マニュアルがあり、毎日掃除を行い清潔に保てるよう心掛けている。 トイレの手洗い場などこまめに確認するようにしていきたい。	
64	○食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応については、全職員にも周知されている	
コメント	マニュアルがあり、園内研修で確認も行った。	
65	○事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取組を行っている	
コメント	けが記録簿をつけ、月1回 ワークミーティングで話し合いの場を設けている。月に1度園内外の安全点検チェックを行っている。 また、事故防止委員が毎月散歩コースの確認を行い、危険箇所を会議で伝えみんなで情報を共有している。	
66	○事故や災害に適切に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	
コメント	マニュアルがあり、職員に配布されている。毎月避難訓練を行っている。一人一人が意識をしていく。	
67	○不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	
コメント	マニュアルがあり、訓練を行っている。18:30以降、大きな戸の鍵をかける。	

(改善できる点や改善方法)

0歳 : ・遅番のおやつの時間を決める。

1歳 : ・手洗いの際に混雑してトラブルが多いので、足形を貼って、待つ位置をわかりやすく伝えるなど工夫する。
 ・畠に興味を持っている園児が多くいたが、水やりや収穫等に参加する機会が少なかった。もっと計画的に関わっていきたい。
 ・一時預かりとの話し合いが少なく、コミュニケーション不足だった。危機管理も足りなかった。もっと話し合いの場を多く設けるようにしていきたい。

2歳児 : ・自由に製作ができる環境を作る。コーナー遊び等で取り入れる。
 ・季節やテーマが感じられるような環境作りをするべきだった。
 ・声掛けや口調が強くなってしまう時があったので、優しい声掛けを心掛けるべきだった。
 ・園児が食べ物に興味が持てるような工夫が必要だった。(紙芝居や絵本など)

3・4・5歳 : ・年に3回個人目標を立てるほかに、気になることがあった際はこまめにクラスノートに記録する習慣をつけていく
 ・状況に合わせた声の大きさ、トーンを意識しながら声掛けをする。
 ・忙しいときや余裕のないときでも、子どもの気持ちを優先し、冷静になって対応する、急かさない。
 ・園児が自主的に廃材や素材を使えるような環境設定をしていく。
 ・普段から簡単な楽器遊びを取り入れていく。
 ・配慮を必要な園児が増えてきてるので、懇談会などで取り入れ、保護者に周知してもらえるような場を設ける。
 ・会議で発言をする。・掃除を丁寧にする。・自然物の製作を取り入れたい。・自発性を持てるきっかけ作りをする。
 ・SIDSの勉強をする。

一時・子育て支援 : ・他クラスへ手伝いに行くことがあり、製作をする余裕がなかった。
 ・子育て中の保護者に寄り添い、不安な気持ちをサポートしていきたい。
 ・職員間でコミュニケーションをとり、雰囲気作りをする。

給 食 : ・毎月の主な活動に関連した食材の紹介やお話、掲示物等をもっとできればよかったです。
 ・ホワイトボードに貼ってある日本地図を上手く活用できなかった。
 ・食事のマナーや食べ方、下膳の仕方を定期的に伝えるべきだった。
 ・食べ残しが残ったままや、米粒がたくさんついたままの茶碗が結構あった。
 ・パン屋見学やもちつきなど、地域交流を食育面でもできて良かった。

令和2年 1月 25日に職員参加で実施した。

令和2年 2月 3日

記録 : 松田 薫(副園長)

NO.1

実施 状況	達成 状況
A	a

A	a
<hr/>	

A	a
<hr/>	

A	a
<hr/>	

A	a
<hr/>	

A	a
<hr/>	

A	a
<hr/>	

A	a
<hr/>	

A	a
<hr/>	

A	a
<hr/>	

A	a
<hr/>	

A	a
<hr/>	

A	a
<hr/>	

A	a
<hr/>	

A	a
<hr/>	

A	a
<hr/>	

A	a
<hr/>	

A	a
<hr/>	

実施 状況	達成 状況
A	a
A	a
A	a
A	a
A	a
A	b
A	a
A	a
A	a
A	a
A	b
A	a
A	a
A	b
A	a
A	a
A	b
A	a
A	a
A	a
A	b
A	a
A	a

実施状況	達成状況
A	a
A	a
A	a
A	a
A	a
A	b
A	b
A	a
A	a
A	b
A	b
A	b
A	a

実施 状況	達成 状況
A	b
A	a
A	b
A	a
A	a
A	b
A	a
A	a
A	a
A	a
A	a
A	a
A	a
A	b

実施 状況	達成 状況
A	a
<hr/>	

A	a
<hr/>	

A	a
<hr/>	

A	a
<hr/>	

A	b
<hr/>	